

2009年9月27日メッセージ

今日の『戦争と医の倫理』の検証を進める会の設立大会に公用のため出席できないことを残念に思い、ここにメッセージを送りたいと思います。

人間のいのちは、国籍や人種との差別なく、一様に大切なものであり、傷つけ合う争いは否定されるべきであります。

このことを一番よく知っているのは医療や看護や福祉事業に参加している者です。

戦争が起こると、人間同士はいのちの尊厳さを忘れて傷つけ、いのちを殺すような行動がとられます。それを2度と起こさないためには、過去の戦争によって行った生命にとっての非倫理的行動の実体をまづ把握し、それが2度と起こらない平和運動に参加すべきものと考えます。

以上の意味で本日の発会式は大きな意義を持つものと信じ、同志的な交わりで今後のこの会の発展を切に希望します。

聖路加国際病院

理事長

日野原重明

日野原重明